

市民協働ファシリテーターの活動実績

1 市民協働ファシリテーターの活動実績

年 度	派遣ファシリテーター数	派遣ワークショップ数
令和3年度	延べ55名	10件
令和4年度※	延べ51名	6件

※令和5年3月15日時点

2 その他の活動実績

(1) オンラインワークショップへの市民協働ファシリテーターの派遣

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面でのワークショップに代わってオンラインを用いたワークショップが増加したことを受けて、自主的にオンラインでのファシリテーション手法を学んだ市民協働ファシリテーター等を中心に、オンラインを活用した新しい形でのワークショップを実施した。

(2) 「アドバンスト・ファシリテーター」の任命

市民協働ファシリテーターとして経験を積んだ主任級以上の職員が、市民協働ファシリテーター研修の講師とチームを組み、研修の運営に参画することで、さらなるスキルとして、市民協働の機会そのものをゼロから生み出す力やファシリテーションを指導する力を身に着けた。令和4年度は、5名を任命した。

アドバンスト・ファシリテーターは、新たな役割として、政策の形成、実施及び評価の一連の過程において、市民協働ファシリテーターの積極的な活用について助言し、市民対話の実施を提案するほか、市民協働ファシリテーターの養成のサポートを担う。

自身の職場だけでなく、他所属におけるワークショップ等の企画、運営を支援することで、こうした職員の育成と活躍の積み重ねにより、職員全体の対話力を強化し、市役所の組織文化を内部から変えることを狙っている。

(3) 「京都をつなげる30人」への参加（SlowInnovation(株)主催）

京都に関わる企業やNPO、行政など様々なセクターから選ばれた30人が集まり、企業の持つビジネスモデルの知識、NPOの持つアートや社会課題の専門知識、行政の持つ政策形成の知識を持ち寄り、対話を繰り返し、またセクターを超えた次世代ネットワークを構築し、社会課題の解決のモデルを作り出すことを目指すもの。令和3年度は、4名の市民協働ファシリテーターを派遣し、社会課題解決のプロジェクトの企画運営、実践を行った。